

消費税8%からの4年を振り返り 購買環境の変化のなか、 新たな工夫を取り入れる生活者と、次の増税へのおもい

生活者研究センター
ライフスタイル研究室

2014年4月の5%から8%への消費税増税実施から4年。現場レポートでは、増税3ヶ月後とその1年後の2回にわたり、家計への負担増に戸惑いながらも、買い物では節約しつつ楽しい時間も大切にする「メリハリ家計」で堅実に暮らす女性たちの様子を報告しました。今回のレポートでは、8%から10%への増税に対する意識について報告すると共に、購買を取り巻く環境が大きく変化するなか、彼女たちが家計にどのように向き合い、新たな工夫をどのように取り入れてきたかを紹介します。

- いつかくる増税を意識しつつも、実施時期の認知度は約半数
- 前回増税前の前倒し購入の有無とそのおもい
- 購買環境の変化に伴い、ネットやアプリの活用などで節約にも新たな工夫
- 次回増税までの1年を、家計や買い物の見直しの準備期間に

【調査概要】

家計についての意識実態調査

「増税前後の暮らしに関する調査」

調査期間：2014年3～4月
調査方法：インターネット調査
調査対象：首都圏在住20～60代既婚女性
回答者数：500人

調査期間：2014年7月
調査方法：インターネット調査
調査対象：首都圏在住20～60代既婚女性
回答者数：500人

「増税意識定量調査」

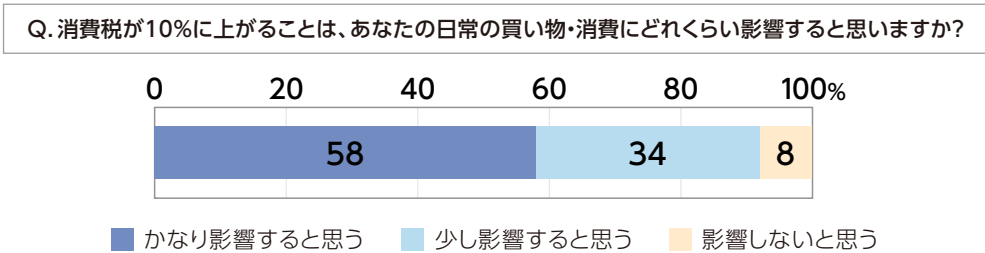
調査期間：2018年4月
調査方法：インターネット調査
調査対象：首都圏在住20～60代既婚女性
回答者数：500人

「普段の暮らしや買い物について」

調査期間：2014年4～7月、2015年4月、2016年4月、2017年7月、9～10月
調査方法：家庭訪問インタビュー
調査対象：首都圏在住20～60代女性
対象者数：2014年 11人、2015年 8人、2016年 8人、2017年 16人

いつかくる増税を意識しつつも、 実施時期の認知度は約半数

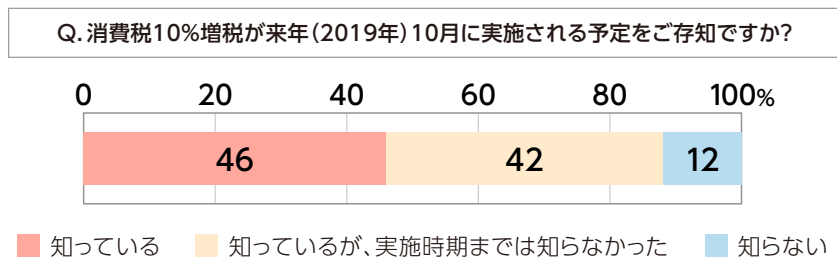
2019年10月実施予定の8%から10%への消費税増税について、約1年半前にあたる2018年4月の時点で、首都圏在住既婚女性の約9割が「買い物・消費に影響すると思う」と回答しています(図1)。これまでも消費税が段階的に上がった経験からか、買い物・消費に対する影響としては「必要な物しか買わなくなる」「セールの際にまとめて買う」などの買い方の変化や、「高額品」「嗜好品(菓子など)」などの買い控えを想定しており、「10,000円買ったら消費税が1,000円になるから一層気になる」「1,000円以上の買い物は慎重になる」と答えています。



(図1)増税の買い物・消費に対する影響度

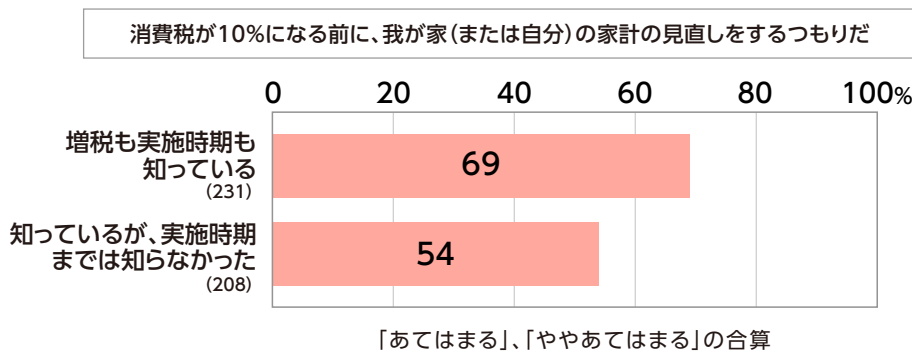
首都圏在住20~60代既婚女性 500人
2018年4月(花王 生活者研究センター調べ)

しかし、消費税が8%から10%への引き上げ実施予定時期を「知っている」と答えたのは、この時点では約半数でした(図2)。開始時期の認知状況別に「増税までに家計の見直しをするつもりだ」という意欲をみると、「知っている」人の家計見直し意欲は69%であるのに対し、「開始時期までは知らなかった」人では54%にとどまり、開始時期までは知らなかった人の増税への準備はこれからといった印象です(図3)。



(図2)増税時期の認知状況

首都圏在住20~60代既婚女性 500人
2018年4月(花王 生活者研究センター調べ)

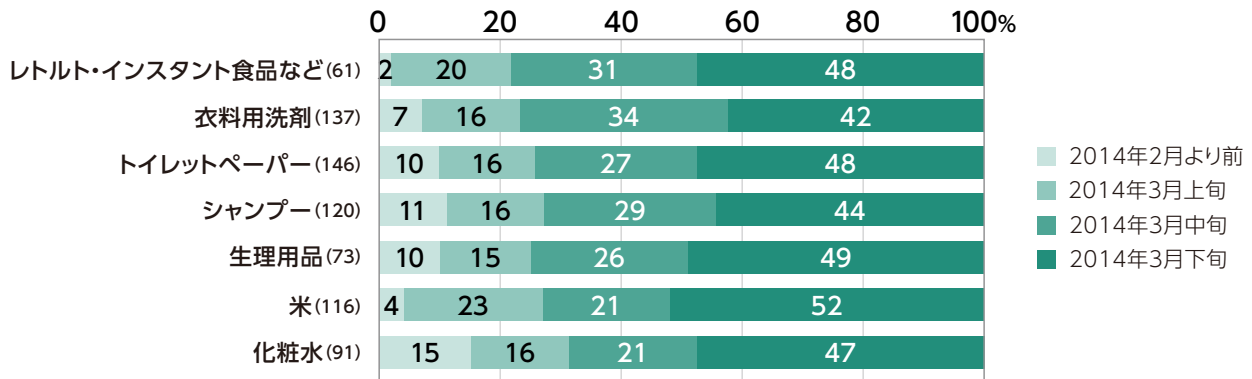


(図3)増税時期の認知状況と家計の見直し意欲

首都圏在住20~60代既婚女性 500人
2018年4月(花王 生活者研究センター調べ)

前回増税前の前倒し購入の有無とそのおもい

2014年の消費税が5%から8%へ増税した時の生活者の購買行動を振り返ってみると、増税前に「前倒しで購入した」と回答した人は約半数でした。購入したものは日用品が多く、「トイレトペーパー(29%)」、「衣料用洗剤(27%)」、「シャンプー(24%)」などいつも使っているものが上位にあがりました。これらを前倒し購入した時期は、3月下旬が約半数と最も多く、増税直前に駆け込むように購入した人が多かったことがわかります(図4)。

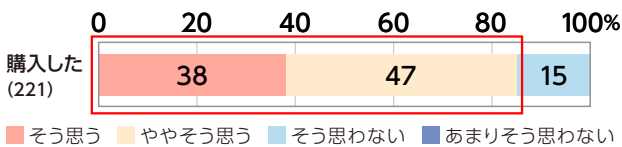


※該当商品を前倒しで購入した人対象
対象首都圏在住20~60代既婚女性 500人
2014年3~4月実施(花王 生活者研究センター調べ)

(図4) 2014年増税時に前倒し購入した時期(品目別)

前倒し購入の有無とそのおもいについては、日用品を前倒し購入した人で買ったことを良かったと思った人は85%。一方で購入しなかった人も、前倒し購入の必要性を冷静に考えていたり、買い置きを決めていたりなど、自分なりの買い物スタイルを持っている人が多く、買わなかったことを良かったと思った人は75%に上りました。いずれも自分たちの行動を肯定的に受け止めた人が大多数でした。ただ、日用品を前倒しで購入した人の中には、「あわてて予定以上に買ってしまった」、「ついつられて買ってしまった」など、計画的ではなかった買い物を反省している様子もみられました(図5)。

Q. 増税前に、日用品を(前倒しで)購入したことを良かったと思えますか?

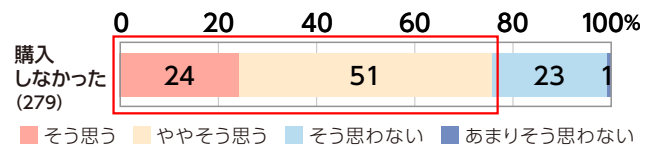


〈前倒しで購入した人〉

最近のチラシを見ると3%以上高くなっているようで、買って置いて良かった。ただ、新製品が出ていると気になりますが在庫があるから買えない。 既婚40代女性/専業主婦

増税前の買い置きチャンスのポップを見て一つでいいのに、色々多めに購入してしまった。収納場所からあふれる程で、ずっと片付かなかった。 既婚40代女性/パート

Q. 増税前に、日用品を(前倒しで)購入しなかったことを良かったと思えますか?



〈前倒しで購入しなかった人〉

瀬戸際になって、使う物は買おうかと思ったが化粧品は間に合わなかった。直前にネットでもチェックしたが、「実物を見てからのほうがいい」と思いやめた。 既婚女性30代/パート

3/31にドラッグの店頭トイレトペーパーが品薄でビックリ。皆さん買われたのかな? かさばるし邪魔なものになあ。 既婚女性30代/フルタイム

(図5) 日用品の前倒し購入の有無と行動へのおもい

首都圏在住20~60代既婚女性 500人
2014年7月(花王 生活者研究センター調べ)

購買環境の変化に伴い、 ネットやアプリの活用などで節約にも新たな工夫



5%から8%へ消費税引き上げが実施された頃の生活者たちは、2009年のリーマンショックによる想定外の収入減や2011年の東日本大震災の影響によるさまざまな制約から生活行動の優先順位を明確にせざるを得ないような経験をしていました。その中で家計の負担や先行き不安を感じながらも、安く買うための工夫や節約など、変化に対応できる力をつけてきていました。消費税8%後は戸惑いを感じつつも、それまでの経験を活かし、自分なりの引き締めややりくりの方法を見つけ出し、1年後には堅実に家計を回していました。

くらしの現場レポート(2014年7月):消費税8%増税前後の「購買行動」とその「おもい」

▶ <https://www.kao.co.jp/lifei/life/report-04/>

くらしの現場レポート(2015年7月):消費税増税1年後の暮らしの実態とおもい

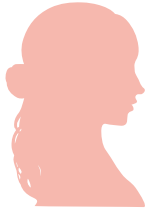
▶ <https://www.kao.co.jp/lifei/life/report-15/>

さらに、2014年からの4年間には、原材料の高騰などを受けて食用油、コーヒー、パン、ヨーグルト、調味料など生活必需品などの値上がりもあり、家計の負担がじわじわと高まりました。一方で、購買環境ではインターネット通販(以下ネット通販)の拡大や中古品売買(リサイクル)の一般化、便利なスマホアプリ、ネットサービスの普及により、購買行動や節約の工夫にも大きな変化が見られるようになりました。かつては1円でも安いお店を探して時間と労力をかけていた節約が主流でしたが、「いつでも買える、すぐ届く」ネット通販の利用拡大により、今は買い物にかかる時間や労力もコストに換算し、「より安く」だけではないコストパフォーマンスの良い買い方、消費しながら上手に節約という選択肢も加わったように感じます。

家庭訪問インタビューからは、従来の時間と労力をかける節約や家計簿による家計管理、また、低価格で購入できる生活アイテムやインテリア雑貨で暮らしをセンス良く楽しむといった工夫に加え、ネット通販やスマホアプリなどの活用により節約行動や家計管理にもさまざまな工夫を取り入れている事例を紹介します。

事例

フリマアプリを活用し、楽しみながら上手に節約



節約は楽しんで、教育費のために今後も節約して貯蓄したい！
子どものものはメルカリを活用。たまにママ友と子連れでショッピングモールで遊んだり、香りの気に入ったボディクリームなどは、多少高くても買っちゃいます。

Aさん(29才)専業主婦
夫 子ども2人(5歳、3歳)

節約の工夫

- 子供の服・おもちゃはフリーマーケットアプリ(メルカリ)を利用。サイズアウトしたら売る。
- インテリアは百元均一ショップでプチプライスでセンスよく。



子どもの入園式のブランドもののスーツ(2~3万円)をフリマアプリで2~3千円で購入。

家計管理

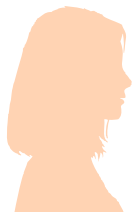
- 一つの通帳で管理している。
- 週に1回くらいはネットで口座を確認。使い過ぎたら、余計な出費をストップする。

これから・将来の自分

- 教育費を貯蓄したいが、予定通りにはっていない。
- 結構焦りが出てきたので、仕事も始めたい。
働いたお金で、自分の好きな物を買って、自分の好きな場所に行きたい。

事例

固定費を見直しアプリで管理、楽しい消費にはポイントを活用

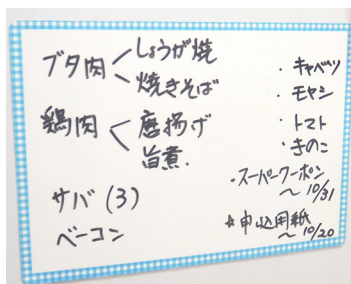


固定費を見直し、アプリできっちり管理しながら備えている。
とにかく節約して今を生きる!働くことも視野に入れてます。
貯めたポイントをディズニーのチケットとか子どもが喜ぶものに使いたい。

Bさん(31才)専業主婦
夫 子ども2人(小学2年、3歳)

節約の工夫

- 新聞はやめて、広告のチラシは夫の実家で読む。
- ネット、ポイントカードなどを駆使して節約。
- 携帯電話を格安携帯に見直し(2台で1500円)。
- 住宅ローン見直し(銀行に直接交渉して月1万6千円減額)。
- フリーマーケットアプリで週2~3回売買して、節約と利益にも。
- クレジットカードは1枚に集約して、ポイントを貯める。



1週間のメニュー、買うもの、お得なクーポン券を
書いて冷蔵庫に貼っておく。

家計管理

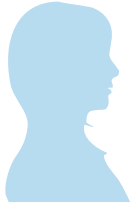
- レシートを写メして家計簿アプリで記録して、家計管理を継続。

これから・将来の自分

- しっかり節約をし「浮いたお金は、老後のために貯金にまわす」。
- 消費税10%になる前には冷蔵庫と洗濯機が欲しい。
- 自分が働くことも視野に入れている。

事例

ネットショッピングと大容量で節約と手間の軽減の両立



大容量は割安なイメージ、定番品はネットでまとめて購入。
私の洋服もお得に買いたいからネットで調べて探す。でもデザインが気に入ると、結局高めのものを買っちゃうことも。
最終手段は私が働くことで、家計の収入をアップさせたい。

Cさん(45才)パート

夫 子ども2人(高校2年、小学4年)

節約の工夫

- お得なものの探しは継続、洗剤の詰替えの大容量は割安感があるから購入。
- 洗剤や定番の夫や息子たちのシャンプーは、値引率が高くなる金額までまとめてネットで購入。



大容量は、何度も買いに行かなくて済むし、割安なイメージ。

- 携帯電話の契約内容を見直し(3台で18,493円)。
- 生命保険を見直し(自分の終身保険を解約)。

家計管理

- 家計簿をつけて家計管理を継続。

これから・将来の自分

- 消費税が10%になる前に、駐車場の屋根をつけたい(夫)。
- こだわりの本みりんは増税前に買っておかないと!
- いざとなれば、パートの仕事を増やして収入をアップさせたい。

次回増税までの1年を、 家計や買い物の見直しの準備期間に

前回2014年の消費税増税からの4年の間には、購買環境の大きな変化により買い方の選択肢が広がり、「より安く」だけではない時間・手間もコストに換算したコストパフォーマンスの良い買い物、消費しながら上手に節約するといった行動も増えました。また、便利なネットサービスの登場により、家計が簡単に把握しやすくなりました。

増税までいよいよ1年。増税前に家計の見直しをしたいと考えているならば、この1年という時間を使って「家計の中の要、不要の見極め」「暮らしの中で大切にしたいこと」「支出が減らせない場合は、収入を増やす方法」などを冷静に考えてみることも大切です。買い物についても、もし前倒しで買い物をするとしたら、置く場所や使い切り期間などを考え、何をどのくらい購入するかあらかじめ考えておくなど、前回増税時の経験や反省を活かして計画的に準備を始めておくことが大切と考えます。

●お問い合わせ・ご意見は **花王株式会社 生活者研究センター**

〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 TEL. 03-5630-9963(月～金 9:00～17:00) FAX. 03-5630-9584

くらしの研究 www.kao.co.jp/lifei/

※掲載の記事・写真の無断掲載・複写を禁じます。